

京都新聞

滋賀

京都新聞社

The Kyoto Shimbun Co., Ltd.

発行所 〒604-8577
京都市中京区烏丸通御池上ル
<http://kyoto.npo.jp/>
番号案内・受付(075)241-5430
読者応答室 (075)241-5421
購読お申込み(010)464-468
注資本社
大津市草薙1丁目3番32号
〒520-0044 ☎(077)523-3131

大戸川ダム中止意見廃案

県会対立 時間切れ流会

補正予算なども

滋賀県議会の定例会は会期末の二十一日、大戸川ダム（大津市）建設中止を求める趣田由紀子理事の意見案をめぐる議事運営で会派間の意見がまとまらず、本会議が開かれないまま時間切れで流会となつた。定例会に提案されていた本年度一般会計補正予算案など議案三十九件はいずれも採決されず、審議未了で廃案となつた。全国都道府県議会議長会によるく、定例会が流会して全議案が廃案になるのは前例がないといふ。（2面に「アクセス21」、24面に閣連記事）

み状態が続いた。会議規則では、本会議は午前十時から午後五時までに聞く必要がある。会議時間を延長する場合は本会議で手続きが必要だが、本会

河川整備計画案を示す。法は、国が今後20年間に亘る具体的な河川整備を定める「河川整備計画」を策定する際の最終手続きとして、「知事意見の聽取」を定める。淀川水系などをめぐるが、法的拘束力はない。滋賀県は条例により、意見書提出に異議提起の決議が必要とされている。

開催のめどが立たず、
る特別委員会は同日、
知事意見書を提出す
る特別委員会は同日、
翔クラブは議会運営委
員会で、本会議ではか
ら主張した。

県議会が流会したことを見て会見する
喜田由紀子農知事(22日午後、農庄)

県会 議決機関の役割放棄

賛成する民主党・県民ネットワークなどは先に特別委で採決してから本会議を開くべきと、議論が断続的に中止するなど足踏み述べ、上野幸夫議長は嘉田知事は「大変驚いている。県民生活に影響が出ないようすぐに対応を考える」と述べた。一方で、嘉田知事は「大変驚いた」と述べ、内閣の公算を算じながらも、主張を貫かなければならぬ旨を語った。嘉田知事は「大変驚いた」と述べた。内閣の公算を算じながらも、主張を貫かなければならぬ旨を語った。

滋賀県議会の定例会は会期末の二十二日、大戸川ダム（大津市）建設中止を求める発田由紀子知事の意見案をめぐる議事運営で会派間の意見がまとまらず、本会議が開かれないまま時間切れで休会になった。定例会に提案されていた本年度一般会計補正予算案など議案三十九件はいずれも採決されず、審議未了で廃案となつた。全国都道府県議会議長会によると、定例会が休会して全議案が廃案になるのは前例がないといふ。〔2面に連記事〕

河川整備計画案を示す。法は、国が今後20年間に亘る具体的な河川整備を定める「河川整備計画」を策定する際の最終手続きとして、「知事意見の聽取」を定める。淀川水系などをめぐるが、法的拘束力はない。滋賀県は条例により、意見書提出に異議提起の決議が必要とされている。

云々など三会派は、過半数を握りながら、金を防ぐことができなかつた。ます本会議を開催して、時間や会期の延長を勝ち取るといふ軟な姿勢に欠けた面は否めない。

■議会流会についての全47県議の意見

意見

会派・名前		見
■自民党	湖翔クラブ	
上野 幸夫	会派間に不信感があり、合意に努めた。議長として力量不足の面も	
中村善一郎	賛成会派が議長案を拒んだのが原因。議長も踏ん切りが必要だった	
三浦 治雄	議会全体、議員全員に責任。賛成会派が歩み寄ってくれれば	
世古 正	与野党どちらも歩み寄れたら。ダムの地元議員として責任を感じる	
辻村 克	知事・執行部が質問に答えず、採決しようとした。責任の一端は感じる	
吉田 清一	議員全員に責任。委員会採決が終わった議案だけでも進めるべきだった	
家森 茂樹	政局優先の議員が多い。与野党が意地を張り合った結果のハブニング	
佐野 高典	廃案の結果責任は受け止める。財務省原案で状況は変わった	
辻 貢	賛否双方に責任。議長案なら本会議が開けたはず	
山田 尚夫	県民に申し訳ない。県益を守る立場で主張してきた	
山田 和広	賛成派が議長案にのらなかった。知事が単独で反対を進めた。議会軽視	
島田 恵子	県民におわびしたい。きちんと知事が答弁しない意見案に抵抗した結果だ	
福本庄三郎	自民も民主も策をおぼれた。反省しなければならない	
宇賀 武	妥協点を見いだせなかつた。執行部も流会を避けるため汗をかくべきだ	
石田 純介	知事・執行部、意見賛成派、反対派に3等分の責任	
野田 藤雄	議長案をのまなかつた賛成会派に責任。県民に申し訳ない	
生田 邦夫	議会も執行部も責任。臨時議会で議案を通せば県民に迷惑はかかるない	
奥村 芳正	県民に申し訳ない。なぜ過半数の賛成派が開会に同意しなかつたのか	
川島 隆二	結論を出すのが議会の仕事。議員個々が重く受け止めねばならない	
■民主党	・県民ネットワーク	
青木 愛子	議会全体、議員全員に責任。まとめる立場の議長と副議長の責任は重い	
出原 逸三	議会の最高権限を持つ議長の采配が問題。全議員がおわびしなくては	
中沢 啓子	予想できなかつた。議長は流会を避ける手続きをすべきだった	
谷 康彦	予想できなかつた反省はある。最大の責任は議長と議運委	
大井 豊	議会全体に責任。議長権限で時間を持続すべきだった	
西川 勝彦	議長、自民会派に重い責任。流会ありきの議会運営だ	
山田 実	結論を出せなかつた議会に責任。議長も指導力を	
田中 章五	自民の対応は信義違反。臨時議会には金もかかり責任を感じる	
西沢 桂一	特別委を再開させなかつたのが問題。責任を感じる	
辻 孝太郎	混乱を招いた議長の責任。ルール通りにやろうとしたが作戦負け	
西川 敏輝	責任を感じる。議長は最低限、延会手続きをとるべきだった	
今江 政彦	自民のルール違反だが、流会を防ぐ努力をするべきと反省	
江畑弥八郎	県民に申し訳ない。提案議案は採決すべきだ。自民会派に責任	
柴田智恵美	議員全員に責任。「何やってたの」と県民に言われた	
九里 学	47人全員。議会運営委のあり方を考えるべきだ	
成田 政隆	議員全員。特に議長の責任は重い。ルールは守られるべきだ	
■対話の会	・びわこねっと	
沢田 享子	物事を決める議会の機能を果たせず申し訳ない。絶対的な責任は議長	
角川 誠	議長が延会すべき。流会の理由がない。もっと議長に詰めればよかつた	
佐橋 武司	県民に申し訳ない。全議員が反省すべき。議長の指導力も足りなかつた	
清水 鉄次	力不足を感じる。議長に強い意志があれば流会は回避できた	
木沢 成人	二元代表制が引き起こした面もある。議員の努力が求められている	
■共産党		
森 茂樹	本会議を開かなかつた自民会派と議長に責任。意見可決で責任を果たす	
西川 仁	責任を感じる。議長の努力不足。会期延長が最低限の務め	
節木三千代	手立てを尽くせたか自問。自民会派は議案を通したくなかったのでは	
■公明党		
梅村 正	生活関連議案まで廃案は極めて残念。特別委と議運委の調整不足	
粉川 清美	県民に申し訳ない。どうしてまとまらなかつたか疑問	
■湖政会		
中谷 哲夫	全議案の廃案は憤りを感じる。賛成、反対のどっちも悪い	
西村 久子	全議案の廃案はあから。自民会派も民主会派もどっちも悪い	

大戸川ダムに反対する鷹田由紀子知事の意見案が焦点だった11月県議会は、県政史上初めての流会という異常事態で幕を閉じた。一般会計補正予算案など全43議案を廃棄にした県議会の責任は重い。何が原因でどこに責任があつたのか。全47県議に聞いた。

県議会流会 課題越年責任は 何が原因 全47議員に聞く

見も多い。「議会の最高権限は議長、調整が進まないなら時間を見延長するのが当然」などと批判が集中した。

一方、反対派には、まず意見案以外の議案を採決した後に特別委を開く議長案を賛成派が受け入れなかつたのが原因との声が多い。また、混乱を招いたのは知事意見案そのものとして、知事や執行部の責任を指摘する声も目立った。

廃案になつた議案は来年1月9日に開会する臨時議会に諮られる。知事意見案への対応は、各県議とも賛否を変えない考え方だ。賛成派は「議論は尽くされた」と早い採決を

明を求める意見もあつた。

反対派の県議らは「知事は質問に答えていい」とする声が強い。ただし、「流会は避けなければならない」「結論は出すべきだ」などと臨時議会で決着を図る考え方を表明もいた。

嘉田知事は26日の定例記者会見で、「流会について執行部の責任を問う考えには困惑している」と発言。「議会運営に執行部は介入してはいけない。二元代表制の地方自治の原則を守るのが知事の役目だ」との持論を説明した。

